

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会				○					○										
9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済					○				○	○									
10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済									○		○								
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・環境方針のもと、事業活動全般で環境負荷低減や気候変動による影響低減に努めている。 － 廃棄物、有害化学物質について法令の確認および適切な管理実施と定期監査の実施 － 廃棄設備、機器の回収・リサイクルの実施											○	○		○				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・エネルギー使用量を把握し、見える化を行っている。							○						○					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	【予定】 ・TCFDへの賛同を表明するとともに、提言に基づく開示を行う。 － 自社排出の温室効果ガスの把握(SCOPE2まで)と削減活動の実施							○					○	○					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・環境方針のもと、事業活動全般で環境負荷低減や気候変動による影響低減に努めている。 － 廃棄物、有害化学物質について法令の確認および適切な管理実施と定期監査の実施 － 廃棄設備、機器の回収・リサイクルの実施			○			○					○	○						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・グループガバナンスに基づく生物多様性行動指針に基づく活動を展開している。 － 事業にて使用する地下水の揚水制限の設定 － 事業排水の定期的水質検査による環境基準への適合確認 － 山梨県酒養条例の遵守						○									○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・ICT/デジタル技術を駆使し、水資源の管理・効率的な利用に務めている。						○												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○			
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境													○						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・太陽光発電による電力を使用するほか、再生可能エネルギー比率の拡大に取り組んでいる。							○						○					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境													○	○	○	○			

